

シンガポール取引所(SGXL)

米中貿易摩擦再燃に伴うリスクヘッジとして FTSE China A50 株価指数や米ドル/人民元の先物取引需要増加へ
シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2020/6期3Q(1-3月)は、営業収益が前年同期比29.3%増、営業利益が同37.8%増、EBITDAが同38.7%増、純利益が同37.9%増だった。
- 新型コロナウイルス感染拡大による金融市場の不確実性増大に対し米欧の投資家からリスクヘッジ目的の24時間取引需要が高まった。
- 米中貿易摩擦再燃に伴う中国リスクに対し FTSE China A50 株価指数先物や米ドル/人民元ペア通貨先物を使うヘッジ取引需要が高まろう。

What is the news ?

4/24発表の2020/6期3Q(1-3月)は、営業収益が前年同期比29.3%増の2.95億SGD、営業利益が同37.8%増の1.62億SGD、EBITDAが同38.7%増の1.86億SGD、純利益が同37.9%増の1.37億SGD。新型コロナウイルス感染拡大による経済および金融市場の不確実性の増大に対し、米欧の投資家におけるリスクヘッジ目的の24時間取引需要が業績を押し上げた。アジア市場取引時間外のデリバティブ取引枚数も同20%増となった。

セグメント別の営業収益は以下の通り。①債券および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業は前年同期比23.0%増の4,550万SGD。その内、債券が同24%増の400万SGD、通貨・コモディティのデリバティブが同23%増の4,150万SGD。鉄鉱石を中心にコモディティ先物の取引枚数が同34%増となったこと、および通貨先物の取引枚数が同45%増となったことが貢献した。②現物株式及び株式デリバティブ事業は同31.1%増の2.17億SGD。その内、現物株式が同38%増の1.11億SGD、株式デリバティブが同24%増の1.06億SGD。現物株式は主にトレーディング・決済が同65%増、および証券決済および預託管理が同21%増となったことが寄与した。株式デリバティブはトレーディング・決済が同26%増、財務・ライセンスその他が同22%増だった。③時価データ・接続および指数事業は同26.4%増の3,300万SGD。市場データおよびインデックス関連収入が同53%増、接続に係る収入が同7%増。指数プロバイダーのScientific Beta社の買収が市場データおよびインデックス関連収入の増収に寄与した。

How do we view this ?

2020/6通期の会社計画に関し、総費用を4.65-4.75億SGDから4.85-4.95億SGDへ増額修正。その理由は、市場取引の増加やScientific Betaの買収のほか、新型コロナウイルス感染に対する従業員や顧客の安全最優先の観点から国家ヘルスケア支援プログラムへの資金提供を行うことを目的とした「SGXケア・パッケージ」を500万SGDでローンチしたことによる。4Q(4-6月)はトランプ米大統領が新型コロナウイルス拡散を巡る中国責任論を取り上げたことを契機に米中貿易摩擦が再燃する様相を呈しており、中国に係る金融市場の不確実性増大に対し、海外機関投資家からのFTSE China A50株価指数先物や米ドル/人民元ペアの通貨先物を使ったヘッジ取引需要の高まりが期待されよう。2020/6通期市場予想は、営業収益が同13.1%増の10.28億SGD、当期利益が同17.6%増の4.59億SGDである。

業績推移

※参考レート 1SGD=75.96円

事業年度	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6F	2021/6F
営業収益(百万SGD)	800	844	909	1,028	1,035
当期利益(百万SGD)	339	363	391	459	451
EPS(SGD)	0.32	0.34	0.36	0.43	0.43
PER(倍)	31.00	29.18	27.56	23.23	23.34
BPS(SGD)	0.96	1.02	1.01	1.11	1.22
PBR(倍)	10.33	9.73	9.82	8.94	8.13
配当(SGD)	0.28	0.30	0.30	0.32	0.34
配当利回り(%)	2.82	3.02	3.02	3.23	3.43

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.32** (予想はBloomberg)
終値(SGD) **9.92** 2020/5/11

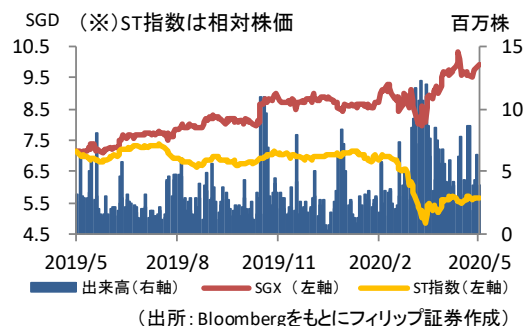
会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

デリバティブ商品では、アジアの株価指数やコモディティ、通貨を原資産とした商品まで、一連の商品を提供しており、中国、インド、日本、アセアンの株価指数を原資産とした金融商品では、世界で最も流動性が豊富な市場である。

企業データ(2020/5/12)

ベータ値	0.67
時価総額(百万SGD)	10,613
企業価値=EV(百万SGD)	10,167
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	50.2



主要株主(2020/5)

1.SEL HOLDINGS PTE LTD	23.37
2.日本取引所グループ	3.44
3.VANGUARD GROUP	2.42

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

シンガポール取引所(SGXL)

2020年5月12日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>